

Title: 「股旅-gdeh special-」



山市 直佑
1985年栃木県生まれ。祖母に多大な影響を受けながら育つ。滝の原健児の気持を今でも忘れていない。日本写真芸術専門学校助手を経て、現在大学院生兼フリー。

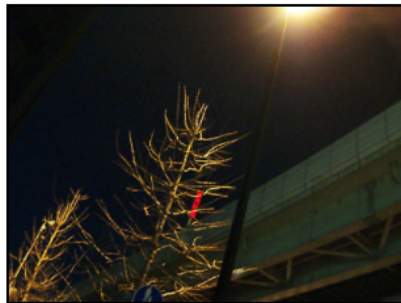
股旅-gdeh _special- > Dezember 2006 アーカイブ

06.12.30

slide.

[Tweet](#)

[Check](#)



● 最近のエントリー

- [slide.](#)
(2006.12.30)
- [変わらない色と変わってしまった色と](#)
(2006.12.28)
- [developing films](#)
(2006.12.22)
- [そして僕は小旅行をする](#)
(2006.12.15)

● アーカイブ

- [Oktober 2012](#)
- [März 2011](#)
- [September 2010](#)
- [August 2010](#)
- [März 2010](#)
- [Februar 2010](#)
- [März 2009](#)
- [Februar 2009](#)
- [November 2008](#)
- [Oktober 2008](#)
- [September 2008](#)
- [Juli 2008](#)
- [Juni 2008](#)
- [April 2008](#)
- [Januar 2008](#)
- [Dezember 2007](#)
- [November 2007](#)
- [Juli 2007](#)
- [Mai 2007](#)
- [April 2007](#)
- [März 2007](#)
- [Februar 2007](#)
- [Januar 2007](#)
- [Dezember 2006](#)
- [November 2006](#)
- [Oktober 2006](#)
- [September 2006](#)
- [August 2006](#)
- [Juli 2006](#)
- [Juni 2006](#)
- [Mai 2006](#)
- [April 2006](#)
- [März 2006](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

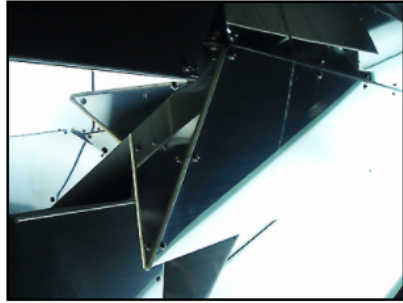
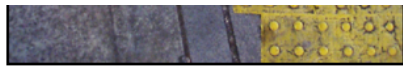
- [countries report](#)

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0



Winter comes.

Now I can feel that with reality.

And also I found that the end of this year is coming here.

All things

Happened to me these days.

I thought that I was still in the season of fall,

Before I can figure out, that season's gone away.

And, here,

Feeling like that,

I walk to the station alone after saying good-night to her.

カテゴリ:

post by 山市 直佑 | 日時: 2006.12.30 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

[読者-gdeh_special-](#) > Dezember 2006 アーカイブ

06.12.28

変わらない色と変わってしまう色と

[Tweet](#)

[Check](#)



写真展。自分の手から、ふっと中空に放り上げるのがすごく怖かったけれど、やってしまうと、かえって、何故そんなに怖がっていたんだろうと不思議に思うくらい、すごくいい経験になっている。もう明日で終わってしまうから、宣伝、というかたちにはならないけれど、写真展の話は、少しばかり。

たくさんの方が来てくれる。高校時代の友達、中学時代の友人・先輩、先生、日芸の学友、恩師、先輩。。。その人数は数えきれなくて、で、その各人がそれぞれ賛否はともあれ、僕の写真展から何かしら感じとってくれていて、その一部分を僕に話してくれる。それがこれからの自分のステップアップにつながる教訓だったり、すごい褒め言葉だったり、恨み言だったり、皮肉だったりするのだけれど、でも、こうやっているんな受け止め方をされるとということが、貴重な体験で嬉しい。

僕がふれこんだからなんだけれど、今回の写真展が僕の誕生日と重なったことをみんなが祝ってくれて、最初は隔れくさかったけれど、やっぱり素直に嬉しくて、そういういろんな贈り物が手一杯になると、帰りの電車ではそわそわしてしまう。



明日で終わってしまうけれど、今回来てくださった方々、本当にありがとうございました！すぐに次の。。。とはいきませんが、コンスタントにすすめていけたらな、と思うのです。

[続きを読む "変わらない色と変わってしまう色と"](#)

カテゴリ:

post by 山市 直佑 | 日時: 2006.12.28 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

[読者-gdeh_special-](#) > Dezember 2006 アーカイブ

06.12.22

developing films

[Tweet](#)

[Check](#)



カテゴリ:

post by 山市 直佑 | 日時: 2006.12.22 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

[読者-gdeh_special-](#) > [Dezember 2006 アーカイブ](#)

06.12.15

そして僕は小旅行をする

[Tweet](#)

[Check](#)

毎日の登校を、「まるで小旅行だね」と言った人がある。それも一人や二人じゃなく、何人もの人からいわれる。僕が住んでいる町は栃木県の南端にある、小山という町で、そこは地方都市の端くれで、本当に田舎臭いと思ったら、失礼なのだろうけれど、僕はそんな町がすごく好きで、最初は都内で暮らしたい、と切に思っても、結局三年間（実質二年半だけ）小山から渋谷までの約100km近くを通い続けてしまった。

電車は走る。光が溢れる時間帯なら、代わる代わる流れて行く風景がその辺り一帯の町を感じさせて、それは小山の町とどことなく似ている。でも確実に町ごとにその空気は違うはずで、それでも同じように感じてしまうのはたぶん、僕がとらえる部分とその空気の部分はつながっていないからだと思う。結果論的に言ってしまうと、そういう差異や共通点すべてひっくり返して、田舎の地方都市という雰囲気がかか抜けて、すごく好きだ。

でもそれは赤羽と川口の間を流れる荒川を超えた途端にがらりと雰囲気をかえる。「町」とは作られたものなのだろうけれど、それ以上に造られた街というイメージがふつふつとわいてくる。そして赤羽を過ぎて池袋あたりに来てしまうと、もう「町」とも「街」とも呼べない風景になってきて、そこに人間が住んでいることが不思議に感じてしまう時さえある。

僕は人の住んでいる、という気配を感じていたいかもしれない。

アジアの町を歩いていた時は、どんな都市部だろうと、人の生活、という気配がいたるところに染み付いていて、それで都市のど真ん中に身を置いても不安になんてならなかった。でも、東京の街に立ってみると、それとは真逆なことを様々な面で突きつけられる。

そして僕は、毎日、その不安と安堵を、繰り返すために、小旅行をする。

カテゴリ:

post by 山市 直佑 | 日時: 2006.12.15 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#)

[読者-gdeh_special-](#) > [Dezember 2006 アーカイブ](#)

06.12.12

station gap [小山～利根川～荒川まで]

[Tweet](#)

[Check](#)





カテゴリ:

post by 山市 直佑 | 日時: 2006.12.12 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)

[脱獄-gdeh special](#) - > Dezember 2006 アーカイブ

06.12.01

秋色

[Tweet](#)

[Check](#)

秋になっていくのが年々遅くなっていると余裕なつもりでいたら、気付いた頃には街路樹の葉っぱは落ちていた。色づいていることに気付かないくらいに自分の気持ちに余裕がなかったなんて思いたくもないけれど、実際、ふっと気付いたら「色づいている」どころの話ではなく、もう足下には落ち葉。ああ、やっぱり秋はきてたんだなと何を今更。そんな気分で悠々過ごしていたら、風邪をぶりがえした。

朝から鼻づまりとくしゃみがひどい。体がだるくてぼーっとする。加えて目までかゆい。

飯塚明夫先生に断りを入れて早退して、地元で病院に行って診察を受けてみたら、目がテンになった。

「たぶん、これは風邪じゃなくて花粉症だねえ」

ブタクサの花粉症、本格的になったのか、もしくは自分が花粉症デビューしたのか。たぶんデビューしたんだろう。信じたくはないのだけれど。。。

今日は心配をおかけしました。アレルギーの薬を飲んだら、だいぶ落ち着きました。



カテゴリ:

post by 山市 直佑 | 日時: 2006.12.01 | [バーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)